

新日本造機



7月1日付で住友重機
械工業グループから西島
製作所グループへ異動し
た新日本造機（本社・東
京都品川区）。発電用蒸気
タービンと石油化学向け
プロセスポンプのリーデ
ィングメーカーである同
社は、海水淡水化をはじめ
めグローバル水インフラ
市場で存在感を高める西
島製作所とのシナジーに
より、既存市場の深耕と、
事業領域の拡大を目指
す。迫田浩隆社長に聞い
た。

迫田 浩隆 社長 インタビュー

西島とのシナジー発現へ

オイル・ガス市場を深耕

▼…新日本造機の強みを
教えてください。

「発電用蒸気タービン
と石油化学向けプロセス
ポンプと駆動用タービ
ン、それらを支えるア
プターサービスの3つを事
業の柱としている。発電

守点検にいたるまでのき
め細かなサービス対応で
差別化を図っている。一
方プロセスポンプは、日
本国内ほぼすべての製油
所に採用されている実績
を基に、日系エンジニア
リング企業（EPC）経

一定の地位を確立してい
る。その一例として、韓
国エスオイルのシャビー
ンプロジェクトにおい
て、原油からの化学製品
接生産技術サーマル・ク
ールド・ツー・ケミカル
ズ（TCC）プロセス

はボーラーフィードポン
プで高いシェアを得てい
る。タービンとポンプを
ワンストップで提供する
ことで、発電設備のさら
なる効率化を実現でき
る。定期点検が義務づけ
られているこれら機器の

▼…海外でのシナジーは
いかがですか。
「納入基盤に対する無
償巡回サービスで案件を
拾い出すことをやってき
たが、西島製作所がクロ
ーバルに展開する拠点網
や、他社製品に対する効
率向上などの提案活動に
ともない、その取り組み
を広げたい。これまで日
本へ持ち帰っていた整備
や部品交換を、ある程度
現地で提供していくなど
リードタイム短縮につい
ても検討の必要がある」
（聞き手＝石井惺子）

▼…脱炭素分野への取り
組みはいかがですか。
「プロセスポンプは二
酸化炭素（CO₂）回収や
持続可能な航空燃料（S
AF）案件で引き合いを
得ている。当社の呉製作
所（広島県呉市）は国内
のポンプ工場としては数

分野は主に3万キロワット以下
の中小規模案件に注力し
ているが、低価格な中国
製やインド製との競合が
激化している。このため
タイとドバイのサービス
拠点を軸に、製品納入か
ら立ち上げ、定期的な保

分野は主に3万キロワット以下
の中小規模案件に注力し
ているが、低価格な中国
製やインド製との競合が
激化している。このため
タイとドバイのサービス
拠点を軸に、製品納入か
ら立ち上げ、定期的な保

由で中東にも多数の納入
実績がある。米国石油協
会（API）規格への準
拠、EPCやプロセスス
ラ イセンサーに登録がある
メーカーはグローバルで
も限られており、コモデ
ィティ化が進むなかでも

の重要機器である高圧多
段ポンプの受注にいたっ
た。
▼…西島製作所と目指す
シナジーとは。
「当社が蒸気タービン
を展開する工場の自家発
電設備では、西島製作所

受注が増えれば、サービ
ス事業という安定した収
益基盤の拡大にもつな
がる。また中東危機で石油
化学設備縮小から維持の
方向へ流れが変わりつつ
あり、プロセスポンプの
需要が向上く可能性が出
ても検討の必要がある」
（聞き手＝石井惺子）

出所：『化学工業日報』2026年9月30日付（許諾番号：GN261009CD001）

※株式会社化学工業日報社の許諾を得て転載しています。無断転載・複製を禁じます。